※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新政治・経済」（実教出版）						
副教材等	「ズームアップ政治・経済資料」（実教出版） 「政経 703　最新政治・経済　演習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会の事象のしくみと歴史や思想を学び、影響と変化を考察していきます。時事問題に関心を持ち日頃から情報を収集する態度が必要です。

・政治・経済とは、自分の生活を学ぶことに直結し、社会のしくみと現状の理解を深めることで、自分と社会の関わりを考えることにつなげます。

2　学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。

(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・自分自身が､自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　現代日本の政治	○政治の役割と民主政治への道のりについて理解します。 ○ホッブズ, ロック, ルソーの社会契約説を比較し, 共通点と相違点について考察します。	a:政治と法の意義と機能, 基本的人権の保障と法の支配, 権利と義務との関係, 議会制民主主義, 地方自治について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 b:個人の尊厳と基本的人権の尊重, 対立, 協調, 効率, 公正などに着目して, 日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について, 多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 c:現代の日本政治について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	民主政治の基本原理	○「法の支配」の考え方を踏まえ，立憲主義と民主主義の関係について理解します。 ○法が自分の生活にどのように関係しているか話し合います。	a:民主政治への道のりと現代の民主政治，法と民主政治，基本的人権の確立と国際化，世界のおもな政治体制について理解している。 b:法や人権，少数派などの観点に着目し，よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し，表現している c：現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	基本的人権の確立	○基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解します。 ○人権の国際化のなかで，日本の人権保障はどうあるべきか考察します。	a:基本的人権が確立した過程と人権保障の内容の歴史的展開について理解している。 b：人権の国際化のなかで，日本の人権保障はどうあるべきか多面的・多角的に考察している。 c：基本的人権が確立した過程，人権保障の歴史的展開，日本の人権保障のあり方について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	世界のおもな政治体制	○イギリスとアメリカの政治機構を比較し，それぞれの特徴を理解します。 ○民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映され，どのような課題があるか話し合います。	a：議院内閣制と大統領制の違いや，旧社会主義圏や旧植民地諸国における政治体制について理解している。 b：民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映されているか多面的･多角的に考察している。 c：議院内閣制と大統領制の違い，旧社会主義圏や旧植民地諸国における政治体制，民主政治の諸原理の各国の政治体制への反映について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	日本国憲法の基本原理	○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。 ○憲法改正に関する議論について考察します。	a: ・大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解している。 b: 憲法改正に関する議論について多面的・多角的に考察している。 c: ・大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴や，憲法改正に関する議論について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	基本的人権の保障	○基本的人権が自分の生活のどのような場面に関係しているか考察します。 ○「公共の福祉」の適用について，人権が対立する具体的な場面をもとに話し合います。	a: 基本的人権と自分の生活との関係や，「新しい人権」の確立が求められている背景について理解している。 b: 「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか多面的・多角的に考察している。 c: 基本的人権と自分の生活との関係，「新しい人権」の確立が求められている背景，「公共の福祉」の適用場面について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	平和主義	○憲法第 9 条をめぐる意見の対立や，日本の安全保障体制の変化について理解します。 ○平和主義の下，今後の日本の安全保障はどうあるべきか考察します。	a: 憲法第 9 条をめぐる意見の対立や，日本の安全保障体制の変化について理解している。 b:平和主義の下，今後の日本の安全保障はどうあるべきか多面的・多角的に考察している。 c: 憲法第 9 条をめぐる意見の対立，日本の安全保障体制の変化，今後の日本の安全保障のあり方について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	国会と立法	○国会の権限や組織，運営について理解します。 ○日本の国会にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察します。	a：国会の権限や組織，運営について理解している。 b：日本の国会にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国会の権限や組織および運営，日本 の国会が抱える課題とその解決について，主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	内閣と行政	○内閣の権限や内閣と国会の関係について理解します。 ○日本の行政にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察します。	a：内閣の権限や内閣と国会の関係について理解している。 b：日本の行政にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか多面的・多角的に考察し，表現している。 c：内閣の権限や内閣と国会の関係，日本の行政が抱える課題とその解決について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	戦後政治と政党	○議会制民主主義において政党が必要な理由や，戦後日本の政党政治の変遷について理解します。 ○現代の日本の政党政治にはどのような課題があるか考察します。	a：議会制民主主義において政党が必要な理由や，戦後日本の政党政治の変遷について理解している。 b：現代の日本の政党政治にはどのような課題があるか多面的・多角的に考察している。 c：議会制民主主義において政党が必要な理由や，戦後日本の政党政治の変遷，現代の日本の政党政治の課題について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	選挙と政治意識	○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解します。 ○日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか考察します。	a：日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解している。 b：日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察している。 c：日本の選挙制度の特徴，選挙の課題，日本の選挙における低投票率の改善方法について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	現代の資本主義経済	○希少性やトレードオフなど経済活動の基本原理について理解します。 ○経済体制にはどのようなものがあるか考察します	a：経済活動の特徴，資本主義経済の成立と変容，社会主義経済と新自由主義について理解している。 b：資本主義経済の特徴に着目し，資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代の資本主義経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	市場経済の機能と限界	○市場における価格の役割や，独占禁止法による規制の必要性について理解します。 ○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察します。	a：市場における価格の役割や，独占禁止法による規制の必要性について理解している。 b：市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について多面的・多角的に考察している。 c：市場における価格の役割，独占禁止法による規制の必要性，市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	国民所得と経済成長	○経済活動の規模や変化をとらえる指標や，景気変動のしくみについて理解します。 ○インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか考察します。	a：経済活動の規模や変化をとらえる指標や，景気変動のしくみについて理解している。 b：インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか多面的・多角的に考察している。 c：経済活動の規模や変化をとらえる指標，景気変動のしくみ，インフレーションやデフレーションが国民生活に与える影響について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている	定期考査	定期考査	提出課題
	金融のしくみと機能	○金融の役割や，金融政策の手段について理解します。 ○なぜ金融の自由化が進められ，それは日本経済にどのような影響を与えたか考察します。	a：金融の役割や，金融政策の手段について理解している。 b：なぜ金融の自由化が進められ，それは日本経済にどのような影響を与えたか多面的・多角的に考察している。 c：金融の役割，金融政策の手段，金融の自由化が進められた理由と日本経済に与えた影響について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている	定期考査	定期考査	提出課題
	財政のしくみと機能	○財政の役割や，公平な税制のあり方について理解します。 ○日本の財政の課題を抱える課題や，持続可能な財政および租税のあり方について考察します。	a：財政の役割や，公平な税制のあり方について理解している。 b：日本の財政の抱える課題や，持続可能な財政および租税のあり方について多面的・多角的に考察している。 c：財政の役割，公平な税制のあり方，日本の財政が抱える課題，持続可能な財政および租税のあり方について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	戦後日本経済の発展	○戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。 ○バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について考察します。	a: 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解している。 b: バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について多面的・多角的に考察している。 c: 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化, バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について主体的に追究し, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	日本経済の現状	○バブル経済崩壊後の日本経済の状況や, 2000 年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響について理解します。 ○日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか考察します。	a: バブル経済崩壊後の日本経済の状況や, 2000 年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響について理解している。 b: 日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察している。 c: バブル経済崩壊後の日本経済の状況, 2000 年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響, 日本経済が抱える課題について主体的に追究し, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	少子高齢社会における社会保障	○日本の子育て支援の現状について理解します。 ○少子高齢社会における子育て支援はどうあるべきか考察し，表現します。	a：少子高齢社会における子育て支援に関する課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を，適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている b：少子高齢社会における子育て支援について，課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想している。 c：少子高齢社会における子育て支援に関する諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	地域社会の活性化	○地域社会の現状について理解します。 ○地域社会の独自性を活かしながら活性化を図るにはどうすべきか考察し，表現します。	a：地域社会の活性化に関する課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を，適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b：地域社会の独自性を活かした活性化について，課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想している。 c：地域社会の活性化に関する諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	多様な働き方・生き方の実現	○労働におけるジェンダー平等の現状について理解します。 ○性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうすれば実現できるか考察し，表現します。	a：性別にかかわらず働きやすい労働環境の実現に関する課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を，適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b：性別にかかわらず働きやすい労働環境の実現について，課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想している。 c：性別にかかわらず働きやすい労働環境の実現に関する諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	中小企業の意義と課題	○日本の中小企業の強みと課題について理解します。 ○中小企業の強みを活かすにはどうすればよいか考察し，表現します。	a：日本の中小企業の強みを活かす方法に関する課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を，適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b：日本の中小企業の強みを活かす方法について，課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想している。 c：日本の中小企業の強みを活かす方法に関する諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	日本の財政の健全化	○日本の財政の現状について理解します。 ○日本はどのような「福祉国家」をめざすべきか考察し，表現します。	a：日本の「福祉国家」としてのあり方に関する課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を，適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b：日本の中小企業の強みを活かす方法について，課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想している。 c：日本の中小企業の強みを活かす方法に関する諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている	定期考査	定期考査	提出課題
	持続可能な食料・農業の実現	○日本の農業の動向について理解します。 ○農業を魅力ある産業にするにはどうすればよいか考察し，表現します。	a：農業を魅力ある産業にする方策に関する課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を，適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 b：農業を魅力ある産業にする方策について，課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想している。 c：農業を魅力ある産業にする方策に関する諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※令和４年度以降入学生用

	国際政治の特質	○主権国家と国際社会の形成過程や，国際社会の特徴について理解します。 ○現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるか考察します。	a：主権国家と国際社会の形成過程や，国際社会の特徴について理解している。 b：現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるか多面的・多角的に考察している。 c：主権国家と国際社会の形成過程，国際社会の特徴，国際社会における主権国家以外の主体について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	国際社会と国際法	○国際社会の秩序維持の要因や，国内法と比較した国際法の特徴について理解します。 ○国際司法機関がどのような役割を果たしているか考察します。	a：国際社会の秩序維持の要因や，国内法と比較した国際法の特徴について理解している b：国際司法機関がどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察している。 c：国際社会の秩序維持の要因，国内法と比較した国際法の特徴，国際司法機関が果たしている役割について主体的に追究し，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度